



喜友名の石獅子群

喜友名には、集落を取り囲むように7体の石獅子が配置されています。シーサーは集落や屋敷内に厄や忌み嫌われるものが入らないよう、「反し(ケーシ)」としての役割があります。

ひとつの集落に多くの石獅子が残っているのは珍しく、県内最多で市指定有形民俗文化財に指定されています。

⑥パイプラインの標識



パイプラインと呼ばれる那覇軍港から普天間基地に燃料を送る油送管が、喜友名集落の北側から東側を通っていたことを今に伝える当時の標識が残っています。

⑦ガンヤー・合祀祠



祠2つと鳥居が建立されています。鳥居から向かって右側の祠が「喜友名グスク」、左側が「フトゥキアブ」にあった香炉で昭和34年に移設したそうです。

⑧火の神



徳山にあった火の神が、戦後公民館裏に移設されています。



戦前の喜友名集落イメージ図



編集・発行：宜野湾市教育委員会
〒901-2203 沖縄県宜野湾市野高 1-1-2
Tel.098-893-4430

編集協力：株式会社文化財サービス
〒901-2416 中城村字和宇慶 781-43

印刷：株式会社東洋企画印刷宜野湾営業所
〒901-2211 宜野湾市宜野湾 1-4-6

喜友名 歴史文化遺産マップ

ちゅんなー



喜友名について

喜友名は、1671年に浦添間切から分離され宜野湾間切に編成されました。方言名でチユンナーと言います。

琉球王国時代の地割制度の名残りで集落全体が基盤のように規則正しく区画整理されており、旧集落の面影が残っています。

喜友名七泉に代表されるように湧水の多い水に恵まれた地域ですが戦後、キャンプ瑞慶覧と普天間基地に集落の一部が接収され、ほとんどの耕地や湧泉を含む多くの歴史文化遺産が基地内に接収されました。

しかし、集落内では今も石獅子群や印部石など、特徴的な歴史文化遺産を見ることができますので、マップを片手に喜友名集落を散策してみてください。

世帯数:1,346 人口:3,211(平成25年2月現在)

喜友名の位置



宜野湾市全域図